



## 女子サッカー部報告

編集  
堀田佑希乃・下間優芽(2年生)毎日ブログ更新!最新情報はこちらで!!  
<http://toin.sakura.ne.jp/>

KEEP EVOLVING to MAKE LEGEND

2014年5月31日 NO.67

2014-2015 シーズンチームスローガン: 伝説を作るために進化し続ける

第20回選抜高校女子サッカー大会 IN 熊谷

## めぬまカップは13位

決勝は日ノ本学園が常盤木学園を破り3度目の王者に

第20回選抜高校女子サッカー大会「めぬまカップ」IN 熊谷は3月25日から29日まで埼玉県熊谷市で行われ、大阪桐蔭高校は予選リーグで仙台明成高等学校に3-1、花咲徳栄高等学校に4-0、湘南学院高等学校に1-1、県立宇和島南中等教育学校に6-0、三重高等学校に5-1の4勝1分で終えたが、湘南学院に得失点差で敗れ2位トーナメントへ回った。2位トーナメントでは、1回戦に京都精華女子高等学校に0-0のPK2-4で惜しくも敗戦した。敗者戦に回り2回戦は、聖カピタニオ女子高等学校に5-1、13位決定戦では本庄第一高等学校に4-0で勝利し、最終13位で終わった。この大会は優勝を目標にしていたが、二つの引き分けが響き目標に届かなかった。

決勝は、日ノ本学園が素晴らしいサッカーで4連覇を目指す常盤木学園を破り3度目の優勝を果たした。

## ◇予選リーグ1回戦(3月26日、熊谷スポーツ文化公園)40分ゲーム(カッコは前半のスコア)

大阪桐蔭 3-1(1-0)明成高校

【得失点】6分持田、28分失点、32分中山、34分田中ちひろ

## ◇予選リーグ2回戦(3月26日、熊谷スポーツ文化公園)40分ゲーム

大阪桐蔭 4-0(3-0)花咲徳栄

【得失点】14分呉屋、9分持田、16分呉屋、23分持田

## ◇予選リーグ3回戦(3月26日、熊谷スポーツ文化公園)40分ゲーム

大阪桐蔭 1-1(0-0)湘南学院

【得失点】21分失点、25分呉屋

## ◇予選リーグ4回戦(3月27日、利根川運動公園)40分ゲーム

大阪桐蔭 6-0(3-0)宇和島南高校

【得失点】2分持田、5分持田、12分持田、22分黒田、34分黒田、37分持田

## ◇予選リーグ5回戦(3月27日、利根川運動公園)40分ゲーム

大阪桐蔭 5-1(3-1)三重高校

【得失点】9分失点、11分持田、16分黒田、18分中山、30分呉屋、32分持田

## ◇2位トーナメント1回戦(3月28日、利根川運動公園)50分ゲーム

大阪桐蔭 0-0(0-0)PK(2-4)京都精華

## ◇2位トーナメント2回戦(3月28日、利根川運動公園)50分ゲーム

大阪桐蔭 5-1(1-1)聖カピタニオ

【得失点】2分失点、22分呉屋、26分上西、32分呉屋、38分持田、40分呉屋

## ◇13位14位決定戦(3月29日、熊谷スポーツ文化公園)50分ゲーム

大阪桐蔭 4-2(2-0)本庄第一

【得失点】10分呉屋、13分オウンゴール、26分失点、27分上西、32分オウンゴール、47分失点

## 東洋・尚美など大学と交流戦

めぬまカップの前の3月23日、24日東洋大学と交流戦を行った。修徳高校や岡山作陽高校が参加し人工芝の立派なグラウンドで試合をした。また、めぬまカップ後の3月30、31日には尚美大学が主催する「尚美大学女子サッカーフェスタ」に参加し埼玉栄高等学校、花咲徳栄高等学校、中央学院高等学校、本庄高等学校、文京学院などと交流戦を行った。この大学にも立派な人工芝があり良い環境でサッカーが出来る。このほか飛鳥高校と尚美大学ともトレーニングマッチを行うなど、充実した2日間を過ごした。

## 吉野キャンプでチーム強化

3月7日から9日まで、吉野宮滝野外学校で吉野キャンプが行われた。新チーム始動に向けて、2年生と3年生が参加した。たくさんのプログラムを通して一人一人の成長を目指しチームの強化をはかった。仲間づくりの助けとなる活動ハートアクティビティや、自分たちの食事を作るアウトドアクッキングなどで、協力する大切さや個人の役割を果たすことなどを学んだ。また、今回初めて行われたプレゼンテーションでは、「チームに貢献できること」を一人一人全員の前で発表した。自分の考えを相手に伝えることの難しさ、また、伝わった時の達成感を味わった。

2泊3日という短い間だったが、一人一人が目標を持って、このキャンプに参加し、内容が濃く得るものが多い、充実した3日間となった。

## イタリアキャンプ

3月10日から3月18日まで、女子サッカー部とフラミンゴの部員4人がイタリアキャンプに参加した。今回のトレーニングを担当してくれたのはノバーラのユースコーチアルドさんと、個人戦術、グループ戦術など細かい指導を行った。インテルミラノなどイタリアチームとのトレーニングマッチを通してイタリアサッカーに対する考え方を学ぶことができた。

宿泊したノバーラスポーツセンターはセリエBに所属するノバーラが所有する施設で、6歳から16歳までのチームを持ち、トップチームの練習場がある。施設内にはホテル、フィットネスジム、温水プールなど充実した環境の中で生活した。サッカー以外ではノバーラ、ミラノの観光やショッピングを行い、イタリアの文化、歴史を実際に目で見て感じる事ができた。試合観戦では、セリエAミラン対パルマ戦を観戦した。残念ながら本田選手はベンチでしか見られなかったが、ワンプレーに一喜一憂するサポーターと共に迫力あるサッカーを生で見ることができ、全員がイタリアのサッカーに興奮した。

一生に一度のイタリアキャンプで、多くの事を学び、今、このチームに足りないものも見つけることができ、新チームに向けての準備をすることができた。

## 新入生12人が入部

女子サッカー部12人が仲間に加わった。4月4日入学式が行われ、5日には保護者総会で紹介された。新しいカバンと制服に身を包み凛々しく12人が並んだ。

## 学習合宿

4月15日から19日まで琵琶湖グランドホテルで学習合宿が行われた。Ⅲ類全員が同じホテルに泊まって午前中が学習、午後は練習を行い充実した5日間を過ごした。これから始まるインターハイ予選に良いトレーニングが行えた。